

[学会]

第 73 回 秋期応用物理学会が愛媛大学・松山大学で行われた。



開催地の写真 広々とした大学であった

やはり今年も猛暑であった。人々は皆、多量の汗を流しつつも発表者の内容に耳を傾けていた。今回初めての発表であった私は大層焦っていた。発表スライドが仕上がっていないからだ。仲間たちの愛媛満喫具合を横目に私は、すべての力をスライドに注いでいた。今回、なんとか無事発表を終えることができたのだが、これは紛れもなく小田先生や小寺先生のおかげである。今もなお非常に感謝している。今後、このようなことが起きないように注意して研究生生活を過ごしていきたいと思う。

[発表]

今回、私は「Si ナノワイヤ FET の電気特性に対するアニーリング処理の影響」という題名で発表した。内容としては、Si Nanowire の作製方法に特徴があるため、Si Nanowire の成長機構に関して説明し、Si Nanowire のデバイスの作製方法、そして、アニーリング結果を紹介した。Si デバイス/集積化技術のセッションで発表したため、Si Nanowire の成長機構については、興味を持って聞いてくれたと思う。質疑応答に関しては、本研究の新規性、研究価値、Si Nanowire の成長機構に関して、Si Nanowire の表面保護の方法など、自分が思った以上に質問が来た。初めての公での発表でかなり緊張はしていた。質問者の意見を確実に把握し、もう少しわかりやすいように応答することが必要であると感じた。もっと自分の研究・発表に自信を持とう。

[発表見学]

自分は主にスピントロニクス分野の見学をした。今回とても印象に残ったものは東工大 菅原研究室の Spin MOSFET に関する研究である。自分は Si Nanowire にて Spin MOSFET を実現したいので、非常に参考になる発表であったと感じた。発表後、菅原先生と直接お話しすることができたので良かった。今後とも他の研究者の方と親交を深め自分の研究に結びつけてきたいと思った。

[その他]

愛媛県はタルト、みかん、じゃこ天などのありとあらゆる特産物を取り揃えており、人々の注目を集めている。個人的には、じゃこ天をととても気に入った。お店のおばちゃんからタダでもらえるほど買って食べた。

今回、私が宿泊した場所は道後温泉の近くである。道後温泉は歴史を感じる場所であり、老若男女問わず快適に過ごせる。道後温泉の近くには、少ないながらもお食事処があり、鯛めしが特においしかった。私は発表前の焦りが激しかったが、このひと時はとてもありがたかった。



道後温泉の入り口
とてもにぎやかにみえる



温泉後の鯛めしは最高ですよ

愛媛県の有名なお城である松山城に行った。松山城は道が険しく、そう簡単に入れるお城ではなかった。なので、松山城の途中までリフトを利用した。



リフトの私 体重制限が不安で顔が引きつっている野口

リフトを降りてから城内入り口までの道のりも大変であった。場内までに数々の門があり、所々に城内から鉄砲を撃つための穴がある。昔の人は鎧を着て挑んでいただろうから、城内に攻め入るまでが大変だったと非常に感じる。遥か昔の時代、人間が生き残っていくためには、相当の精神と肉体が必要であったと感じた私であった。それと同時に研究も同等なものであるとふと思い、勝ち残るための厳しさを感じた。

松山城内は割とせまい印象だった。階段も急であり、お城に住んでいた人々は、さぞかし大変だったであろう。最上階は非常に見晴らしがよく、まるで世界を制覇したかのような錯覚にとらわれてしまう。しかし、油断してはいけない、時代の移り変わりとともに町並みも変わっていく。周りにおいていかれないように、いや、むしろ自分から切り開いていく研究者になるべきなのだ、と感じた野口だった。



何かを語りたがりそうな野口



今年も食べました！！

今回も他の研究室の方々と親交を深める会があった。私は発表終了後であったので、羽目を外し、たくさんのお酒を飲んでしまった。

[まとめ]

今回、愛媛での学会であったが、食事のおいしさと世の厳しさを感じた戦であったといえる。次回は、どんな戦になるかとても楽しみだ。



リフトを使わずに松山城へ向かう M1 達
とても元気だ



みんなで仲良く写真を撮りました。



愛媛県を楽しむ小田研メンバー



ぼっちゃん列車が街中を走っていました



お酒もおいしかったです



おいしいと言わんばかりの笑みですね

[謝辞]

今回の発表スライドに対し、小田先生、小寺先生からの確かなアドバイスを頂きました。両先生方には、深く感謝致します。また、たまにお会いしました河野先生、大変ありがとうございました。癒されました。

研究室懇親会にいらっしゃった先生、学生の皆様、ありがとうございました。

そして、共に愛媛県の旅に付き合ってくれた、M2 鈴木君、大橋君、M1 神岡君、近藤君、溝口君、山田君、大変ありがとうございました。私がつい飲みすぎたときは非常に助かりました。特に大橋君の印象が強いです。

また、私に大きな体験や喜びを与えて下さいました愛媛県には感謝したいと思います。また、個人的に旅行してもいいかな、と思いました。



愛媛！！たくさんの思い出をありがとう